

MAENAN SAH Journal vol.162

～『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～ 2026/5/29

SAH イグナイト 4.0 に参加してきました

年度末の3月25日、群馬県庁32階「NETSUGEN」・31階「GINGHAM」でおこなわれた「SAH イグナイト 4.0」に本校生徒会のメンバーが参加してきました。県のSAH指定校5校、協力校12校の計17校から、生徒約50人、教員約20人が参加、群馬県教育委員会が推進してきた「SAH事業」の3年間の成果を振り返り、今後の発展に向けた議論を行うための意見交換イベントです。この事業は、県教育ビジョンの最上位目標である「自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成(非認知能力や主体性=エージェンシーの向上)」を目指しています。(編集 教頭)

SAH イグナイト 4.0 ~Into the Future~

☆オープニング

本校が代表してSAHの取組や成果を紹介! ⇒

☆テーマ別ワークショップ(グループディスカッション)

参加者は学校の枠を超え、生徒と教員が混ざり合った約5人ずつ計13のグループに分かれました。「生徒がエージェンシー(主体性)を発揮できる学校づくり」をテーマに、「学習・授業」「生徒会活動」「探究活動」「部活動」の4つのカテゴリーに分かれて活発な意見交換が行われました。



IGNITE=火をつける

☆参加した生徒の感想

①参加したグループのテーマ or 全体の概要 ②参加しての感想、得たこと、他校の話で興味を引いたこと

①生徒会活動について

②他校の高校生と生徒会活動の進め方を共有しました。話し合いの中で特に印象的だったのは、「学校や生徒会はルールをどこまで決めるべきか」ということです。ここの部分は人それぞれ考え方が違ったので、とても興味深かったです。(生徒会長)



①部活の在り方について

②初めて参加させてもらったんですけど、他校の人とこうして話す機会はめったにないのですごくいい機会になりました。私は部活の在り方について話していて、最終的に今いる環境がすごく恵まれているのだと思えました。部長をしているという先輩が2人いて話を聞いていると、悩みがかなりあるみたいで部活の中心になると色々大変なんだと改めて思いました。今年は私も部活の中心になると思うので、今回参加したことを生かして部活を回していきたいです。(生徒会会計)

①SAH イグナイト 4.0 では、各校の SAH の取り組みを共有し、交流を深める活動が行われました。私は、SAH の 3 年間の歩みについて紹介するプレゼンテーションを担当しました。その後、他校の生徒と分野ごとにグループに分かれ、各分野における課題について意見交換を行い、解決策の検討を行いました。

②私は、「SAH イグナイト 4.0」において、SAH の 3 年間の歩みを紹介するプレゼンテーションを担当しました。この発表を通して、改めて SAH の素晴らしさや目的を再認識することができ、今後の私生活や学校生活において非認知能力をさらに高めていきたいと感じました。また、他校の生徒と関わる中で、同じような活動を行っていても、学校ごとに雰囲気や取り組み内容が異なることに驚きました。特に、課題に対してお互いに解決策を見出そうとする話し合いの中で、主体性や協働性といった非認知能力が自然と発揮されている点が印象的でした。このような交流を通して、SAH の取り組みをさらに活性化させていく上で、とても有意義な機会であったと感じました。(生徒会会計監査)

①今回の SAH イグナイト 4.0 では、SAH 指定校・協力校の高校生と先生を中心として、学習や部活動、生徒会活動などのテーマに分かれてワークショップを行いました。私の班のテーマは「学習・授業」。

②他校の生徒・先生との意見共有を行い、他校の授業の様子や方針をお聞きすることができました。私の班では「どうしたら自主的に生徒が授業参加をするか」という話題について議論をしました。残念ながら結論は出せませんでしたが、深く議論を行えたと思います。(生徒会書記)

☆議論の一例(探究活動のグループ)を紹介

「教員が環境を整えることが、生徒の挑戦できる場や機会が広がる」(教員)、「自分たちの意見が学校という中で議論となり、実現していく達成感」(生徒)、「失敗してもいいから挑戦するという雰囲気の醸成、教員は生徒が挑戦するのを見守る」(教員)。

グループワークでは、教員と生徒が「対等な立場」で交流・議論をおこないました。他校の教員・生徒と

交流することは新鮮だったようで、当初は緊張しつつも教員が上手にコーディネーターを務め、すぐに活発な話し合いがおこなわれていました。他校の生徒の主体的な姿に、多くの教員が感心していました。



☆他校との交流で・・・

新田暁高校の食品科学研究部が作った「トマトパン」が配布されました。最高においしかったです！